

計	画	期	間
令和3年度	～	令和12年度	
(2021年度)		(2030年度)	

## 網走市酪農・肉用牛生産近代化計画

令和3年（2021年）9月

北海道網走市

目次

	ページ
I 酪農及び肉用牛生産の近代化に関する方針	1
第1 網走市における酪農及び肉用牛生産をめぐる	
情勢の変化と基本的な方向	1
第2 経営体質の強化に向けた対応方向	2
1 酪農経営	2
(1) 生産基盤の強化	2
ア 家族経営体の経営力の強化と協業法人の推進	2
イ 畜産クラスター事業等の効果的な活用	2
ウ 施設整備のコスト低減	2
(2) 収益力の向上	2
ア ベストパフォーマンスの実現	2
イ スマート農業技術の活用	3
ウ 経営管理能力の向上	3
エ 放牧酪農の推進	3
オ 性判別精液や和牛精液等の効果的な活用	3
カ 乳牛改良の推進	3
2 肉用牛経営	3
(1) 生産基盤の強化	3
ア 和牛の生産拡大	3
(2) 収益力の向上	4
ア 多様な肉用牛経営の育成	4
イ 飼養管理技術の向上	4
ウ 肉用牛の改良の加速化	4
3 地域連携の強化	4
(1) 労働負担の軽減	4
ア 営農支援組織の活用	4
イ 営農支援組織の機能強化	4
(2) 多様な人材の育成・確保	
ア 次世代につながる人材の育成・確保	4
イ 経営資源の継承	5

4	酪農経営及び肉用牛経営の持続的発展	5
(1)	飼料基盤のフル活用	5
ア	自給粗飼料の生産・利用拡大	5
イ	草地の植生改善	5
ウ	自給濃厚飼料等の生産・利用拡大	5
(2)	畜産環境対策の充実・強化	6
ア	家畜排せつ物処理施設の整備	6
イ	家畜排せつ物の利活用	6
(3)	家畜衛生対策の充実・強化	6
ア	家畜衛生対策の推進	6
イ	海外悪性伝染病への対応	6
第3	生産体制の強化に向けた対応方向	
1	生乳の安定的な生産	7
2	災害等に強い酪農・畜産の確立	7
第4	需要の創出に向けた対応方向	7
1	食の安全と消費者の信頼確保	7
(1)	生産資材の適切な利用	7
(2)	消費者の理解醸成	7
2	ブランド力の向上	8
(1)	牛乳乳製品	8
(2)	牛肉	8
II	生乳の生産数量の目標並びに乳牛及び肉用牛の飼養頭数の目標	9
1	生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標	9
2	肉用牛の飼養頭数の目標	9
III	近代的な酪農経営方式及び肉用牛経営方式の指標	10
1	基本的な考え方	10
2	経営指標の設定	10
3	指標の項目	10
4	酪農経営方式	11
5	肉用牛経営方式	12

IV	乳牛及び肉用牛の飼養規模の拡大に関する事項	14
1	乳牛	14
2	肉用牛	15
V	飼料の自給率の向上に関する事項	17
1	飼料の自給率の向上	17
(1)	粗飼料の自給率向上のための取組	17
(2)	濃厚飼料の自給率向上のための取組	17
2	飼料需要見込量	18
3	飼料供給計画	19
VI	その他酪農及び肉用牛生産の近代化を図るために	
	必要な事項	20
1	家族経営体の維持・発展のための取組	20
2	新型コロナウイルス感染症等を踏まえた業務継続に向けた取組	20
3	需要創出に向けた取組	20
4	計画達成に向けた関係機関・団体の役割	20
5	計画の進行管理と評価	20